

西会津町山浦集落調査に 関する発表資料

宮城教育大学 小金澤研究室
仙台いぐね研究会

山浦集落調査の流れ

<5月> 集落の資源調査

(集会所にて集落の概要をヒアリング調査した。)

<7月> 各世帯ごとにヒアリング調査

(5月の調査を踏まえ、各世帯ごとにアンケート調査とヒアリング調査を行った。各世帯の家族構成と集落の資源を自然環境資源、農林業資源、人的資源、文化資源に分類し、調査した。)

<9月> 集落の家屋調査

(12個ある家屋の造りの特徴、建築された年代などを調査した。)



**9月の調査の際に行った集落
の交流会**



**集落で見られた家屋の屋根。
「寿」という文字が掲げられて
いる。**

集落の概要と資源

人的特徴

- 80歳以上の人口が集落の大半を占める。
- 世帯数は20ある。
- 郡山市、福島市、西会津町内に子ども世帯が多く住んでいる

（＝親戚とのつながりは強い。）

- 「おらが村と帰郷者の交流会」という親戚との交流会を年に一回行う。

農業的特徴

- 和牛を飼育している世帯もある。
- 後期高齢者の自立農業も目立つ。
- その他、カボチャや落花生などが盛ん。

自然環境的特徴

- 高陽山(こうようざん)や山田川などの自然、景観が豊か。
- 6月下旬～7月上旬にかけてホタル(ヒメホタル)が見られる。
- 生き物や山菜の多様性(害獣の被害も多く見られる。)

分化的特徴

- 築100～400年の古民家もある。
(空き家も見られる。→有効活用方法を模索中)
- 藁細工、味噌作りが行われている。



集落で見られた和牛



集落の田畑

集落で行われてきた主な取り組み

①すみ焼き

②里山体験

郡山市や二本松市、喜多方市、若松市の園児に向けた稲作、田植え体験、川遊び体験を行っている。一般団体に向けた稲作体験活動も提供している。

今後の地域活性化に向けた取り組み

①四季ごとに自然体験活動を提供する

例：春→田植え 夏→ホタルの鑑賞会の開催

秋→収穫祭 冬→雪おろし

②米のブランド化

集落の高齢者の自立農業という特徴を生かし、「米寿米」(80歳(米寿)がつくる米)というようなキャッチコピーを作り、販売する。